

iPad アプリによる大腸癌検診の 受診率向上と大腸内視鏡検査

米国で、大腸癌検診受診の意思決定を支援し、患者自らが検査をオーダーできる iPad アプリ mPATH-CRC の効果を検討した結果、24 週間以内の検診受診率が 15% 向上したと報告され、「Annals of Internal Medicine」誌に掲載されました。



日本でも、導入が検討されており、大腸内視鏡検査と組み合わせることにより、大腸がんの早期発見に威力を発揮することが期待されます。

